

# 新年を迎えて

しずない農業協同組合代表理事組合長 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、佳き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の運営につきましては、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本の農業情勢は改正畜産経営安定法の成立や主要農作物種子法の廃止など農業政策が目まぐるしく変化した一年であり、また世界情勢で見ますとTPP協定はトランプ米大統領が離脱を表明したことから、米国を除く11カ国で大筋合意され、続いて日欧EPA交渉も最終合意に至っております。協定により日本農業に大きな影響

を及ぼすものであつて今後の情勢に注視しなければならぬと考えております。

さて昨年の日高地方は、春から夏にかけての低温と収穫時期である秋は降雨が続き、気候が不安定な一年でした。

しかし、この気象状況の中でも当JAでは、組合員皆様の努力で、農作物は平年を上回る結果となり、各作物ともに良い出来秋を迎えることができたものと考えております。

本年の農業作物の状況としまして、水稲は、出穂後の度重なる悪天候による倒状と収穫作業が例年より遅くなりましたが、作況指数が昨年より良く1.03となりました。また、静内地区で作付けされた「ゆめびりか」がホクレン主催の日胆地区コンテストで金賞を初めて受賞し、今後の米作りの大きな一歩となりました。

青果では、ミニトマト「太陽の瞳」については、町内出身のシンガーソングライター阿部卓馬さん

のPRソングがCD化され、同特産品のPRを各地で行っていたできました。

それに伴い販売についても安定的に出荷することができ、取扱金額が9億8500万円と部会目標である10億には及ばなかったものの過去最高額に達し、青果全体でも11億400万円となりました。

本年4月には3組の新規就農者が参入し、また静内地区では初めて外国人技能実習制度の受入れを行います。今後も新ひだか町農業担い手育成支援協議会と連携し、新規就農者及び研修生の支援を続け、地域の経営基盤の強化に努めて参ります。

酪農については、平成13年の指定団体制度（不足払い法）の改正以降、初めて乳価（kg単価）が100円を越え、販売金額が3億4700万円となっております。

黒毛和牛については、一昨年の高騰から市場の平均購買価格が横ばいし、去勢で87万6000円、メスで73万9000円となり前年と比較して約3万円の減少となりましたが、依然高値が続いている状況です。また、年間の販売金

額も6億5100万円と2年連続で6億円を突破することが出来ました。

販売物全体の取り扱いについても24億8500万円と昨年より6900万円上回る結果となりました。

そして、基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売額は、350頭、32億9534万円と前年より5億1000万円増加となり、平均販売価格も前年対比で115万1000円増加となる941万5000円となりました。北海道市場の年間総売上も史上初めて100億円を越え、業界が活気に満ち溢れる一年となりました。

また、昨年は3月26日に中京競馬場で開催された「高松宮記念」を(有)桜井牧場生産のセイウンコウセイ号が、4月9日に阪神競馬場で開催された「桜花賞」を(有)フジワラファーム生産のレーヌミノル号が優勝し、一昨年に引き続き内産馬の存在感を示す活躍がありました。改めまして生産牧場の皆様にお祝いを申し上げます。

その他には、7月のセレクトセールでは女性部が地場産野菜と南